



国立病院機構沖縄病院

連携室ニュース

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します。

2013.9.1 No. 77号

独立行政法人

国立病院機構沖縄病院

地域医療連携室

沖縄県宜野湾市我如古3-20-14

電話 098-898-2121

Fax 098-898-6433

新任医師紹介

麻酔科医師 タカハラ 高原 サヤコ 明子



出身地 : 沖縄県那覇市

出身大学 : 福島県立医科大学

前任施設 : 琉球大学附属病院麻酔科医に所属し、同病院、県立南部医療センター、那覇市立病院などの関連病院を経て当院に来ました。

専門分野 : 麻酔科専門医

コメント : 肩書き上は一人麻酔科医ですが、麻酔科ひとりぼっち、なんて思っていないです。外科の先生と手術室、病棟スタッフとチームになって手術麻酔を担当しています。肺外科手術は麻酔科医にとっても特殊な技術が要求される症例だと思いますが、みなさんと協力しあって働いていきます。患者様にやさしい全身麻酔を、術後経過にプラスに働く術後鎮痛を、目指していきます。よろしくお願ひします。

神経内科医師 オオヤマ 大山 テツヤ 徹也



出身地 : 鹿児島県

出身大学 : 愛媛大学

前任施設 : 鹿児島大学病院

専門分野 : 神経内科

コメント : あたらしく沖縄病院に赴任してきました大山と申します。

出身は鹿児島県で、これまでは鹿児島大学病院に勤務しておりました。大学以外で神経内科に携わるのは初めてで、戸惑いながらの毎日です。まだまだ勉強中の身でご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

呼吸器外科紹介

近年、癌に対する治療の進歩はめざましいものがあります。とりわけ肺癌に対する治療戦略は格段に変化しました。沖縄病院のめざす医療の理念は患者様の立場に立った高度で良質の医療の提供であります。呼吸器外科も患者様個々の特性に応じた医療の提供を実践しています。呼吸器外科における診療の一端を紹介いたします。呼吸器外科は専門医・指導医4人と専門医を目指す医師2名、合わせて6人で構成されています。他に大学病院から2人の若手医師が手術研修を行っています。

呼吸器外科のモットーは次の通りです。



呼吸器外科専門医・指導医
副院長 川畑 勉

1. 安心・安全な手術（合併疾患の有無と心・肺・肝・腎機能を正確に把握し、低下があれば是正したうえで万全の状態ですべて手術に臨む）
2. 根治度を損なわない肺機能温存手術（気管支形成・肺動脈形成や区域切除を積極的に取り入れる）
3. 体に優しい手術（胸腔鏡下手術の導入）
4. 痛みの少ない手術（麻酔専門医による硬膜外麻酔併用など除痛効果の高い麻酔）
5. 術後合併症の軽減（術後肺炎予防のための周術期の口腔ケアや肺動脈血栓塞栓症予防を全例に実施）
6. 呼吸機能の早期回復と早期の社会復帰（特に低肺機能を合併する患者様に周術期の呼吸器リハビリの徹底）
7. 拡大手術や導入化学療法による完全切除の追及

以上を実践することにより理想の医療を提供いたします。

地域医療を担う医療機関の皆様方へ
肺がんの早期発見にご協力をお願いいたします。

国立病院機構沖縄病院における 2013 年前期における肺がん手術症例は 59 例で、47 例が胸腔鏡下に行われております。

前期肺がん手術症例の特徴は下記の 3 点です。

- ・男女ともに進行肺がんが増加の傾向
- ・術前化学療法後の切除症例の増加
- ・多発 GGO（ground-glass opacity）病変の増加

肺がん手術統計（2013 年 1－6 月）

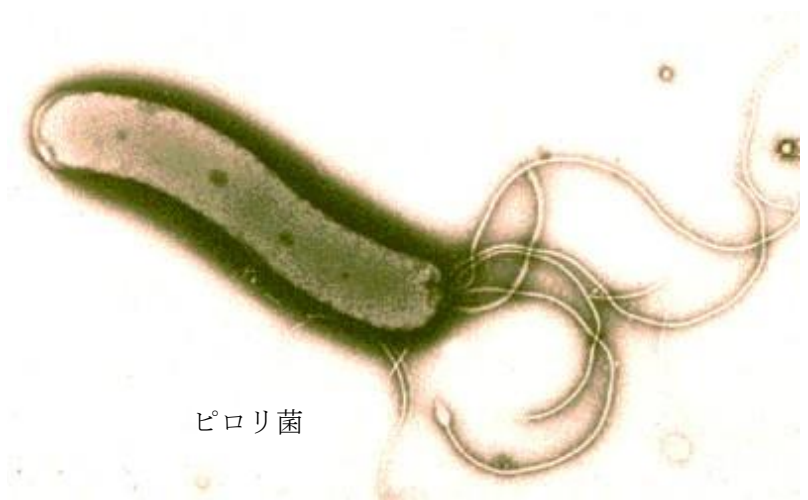
肺がん	59 例
扁平上皮癌	13 例
腺癌	39 例
大細胞癌	2 例
小細胞癌	0 例
腺扁平上皮癌	2 例
多形癌	3 例

肺がん精査は毎日行われております。ご紹介ください。

「健康な胃をとりもどそう！」

ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）は、胃の強い酸の中でも生きることができる菌です。

螺旋状の形をしていて、胃の粘膜に住みついています。胃の中に入ってきた細菌は通常、胃酸によって殺菌されますが、ピロリ菌は持っている酵素によって、胃の中にある尿素をアンモニアに変え、アルカリ性のアンモニアで胃酸を中和して、胃酸の殺菌作用を逃れています。



ピロリ菌

胃潰瘍や十二指腸潰瘍の90%以上でピロリ菌が陽性を占めているとされ、近年になって**胃がんの発症にも大きく関係している**ことがわかってきました。ただしピロリ菌が陽性でも潰瘍にならない人、陰性でも潰瘍になる人がいて、ピロリ菌だけが胃・十二指腸潰瘍の原因とはいえません。ストレス、暴饮暴食、喫煙、体質などのほかの因子も深く関係していると考えられています。

<ピロリ菌検査で何がわかるの？>

胃・十二指腸潰瘍を繰り返して再発する人に、その原因としてピロリ菌が関与しているかどうかを調べます。陽性と出ればピロリ菌の関与が濃厚になります。また、最近の研究では胃がんの発生との関連も注目されており、陽性の場合にはさらに検査をすることが望ましいでしょう。

<検査はどのように行うのか？>

呼気を用いる尿素呼気試験法



参考) 測定機器

検査方法には、ピロリ菌が尿素をアンモニアに変えるときに二酸化炭素が発生する性質を利用して、尿素の入ったカプセルを服用する前と、服用後10～20分に、吐く息を採取してそこに含まれる二酸化炭素の量を調べる「呼気検査」、血液を採取して、そこにピロリ菌に対抗する抗体が含まれているかどうかを調べる「血液検査」、内視鏡で潰瘍を調べると

ともに、胃粘膜も採

取してピロリ菌を培養して調べる「内視鏡検査」の3つがあります。なかでも、呼気検査は簡単なうえに、信頼性も高いため広く行われています。

ヘリコバクター・ピロリ抗体測定法 (血中・尿中・唾液)



出張講座を開催しました！



平成 25 年 5 月 9 日
坂田ハイツ自治会会館
理学療法主任 竹下 明伸
「転倒予防について」



平成 25 年 6 月 6 日
嘉手納町役場
院長 石川 清司
「正しい検診の受け方」



平成 25 年 6 月 11 日
西原町いいあんべ一家
副院長 川畑 勉
「タバコの秘密」



平成 25 年 6 月 18 日
西原町いいあんべ一家
看護師 池間 園香
「タバコの秘密」



平成 25 年 7 月 17 日
上原自治会コミュニティセンター
栄養管理室長 吉丸 健一
「食中毒に気を付けるために」



平成 25 年 8 月 8 日
与那城区事務所
栄養管理室長 吉丸 健一
「生活習慣病について」

乳腺外来のご案内

この胸の“しこり”はなんだろう？

20人に1人の女性が乳がんを発症すると言われています。しかし、乳がん検診を受け、早期に発見さえすれば乳がんは決して怖くない病気なのです。当院では**乳腺外来**をやっております。検診を受けてみませんか？
(マンモグラフィー検査は女性技師が行っております)



*月曜日の診療を追加いたしました。

受付：国立病院機構沖縄病院 外科外来
受付時間：9:00～17:00
診療日時：月 14:00～17:00 (予約制)
火 13:00～17:00 (予約制)
電話番号：898-2121(内線 204)